

商工中金寄附講義
現代経済IID「中小企業の経済学」
最終回

中小企業の経営者、企業家と起業家

2015年7月22日 **岡室博之**(一橋大学)

okamuro@econ.hit-u.ac.jp

本日の講義(1)

- * 企業は資源の集合体:中小企業にとって特に重要なのは人的資源、特に経営者の人的資源
- * 中小企業の経営者(社長)に注目!
- * 経営者(社長)のタイプ:起業者、事業承継者、既存企業の幹部社員(子会社);企業家とそれ以外
- * J.A. シュンペーター(1912)「経済発展の理論」:企業家の起こす革新が経済発展の原動力
- * 企業家活動(entrepreneurship)への期待と政策的・学術的関心の世界的な高まり
- * 起業者=企業家ではないが、起業者は企業家を含む。

本日の講義(2)

- * 起業家(創業者・開業者)に注目!
- * 起業家は日本にどのくらいいるのか
- * 起業家はどのような人たちか
- * 人はなぜ起業するのか
- * 日本における起業活動の低迷
- * 起業活動・態度の国際比較:なぜ日本で起業活動が低調なのか
- * 起業支援政策の可能性
- * まとめ

中小企業の経営者と起業者は 日本にどのくらいいるか

- * 総務省「平成24年経済センサス—活動調査」によれば、
会社(法人企業)と個人事業を合わせて、中小企業は約385万社 →中小企業の「社長」は約385万人
- * 総務省「平成24年就業構造基本調査」によれば、非一次産業の自営業主は591万人(うち起業者368万人)、会社等役員347万人(ほとんどが中小企業;うち起業者146万人)で、合計938万人(うち起業者514万人)。
- * 同年の就業者が6,442万人
→15%が中小企業経営者、8%が起業者

経営者・起業者はどのような人たちか

総務省「平成24年就業構造基本調査」より

(%)	自営業主	うち起業者	会社役員	うち起業者	雇用者
男性	75	80	77	88	55
60歳以上	53	49	45	52	13
大学卒業・ 院修了者	18	21	36	31	28

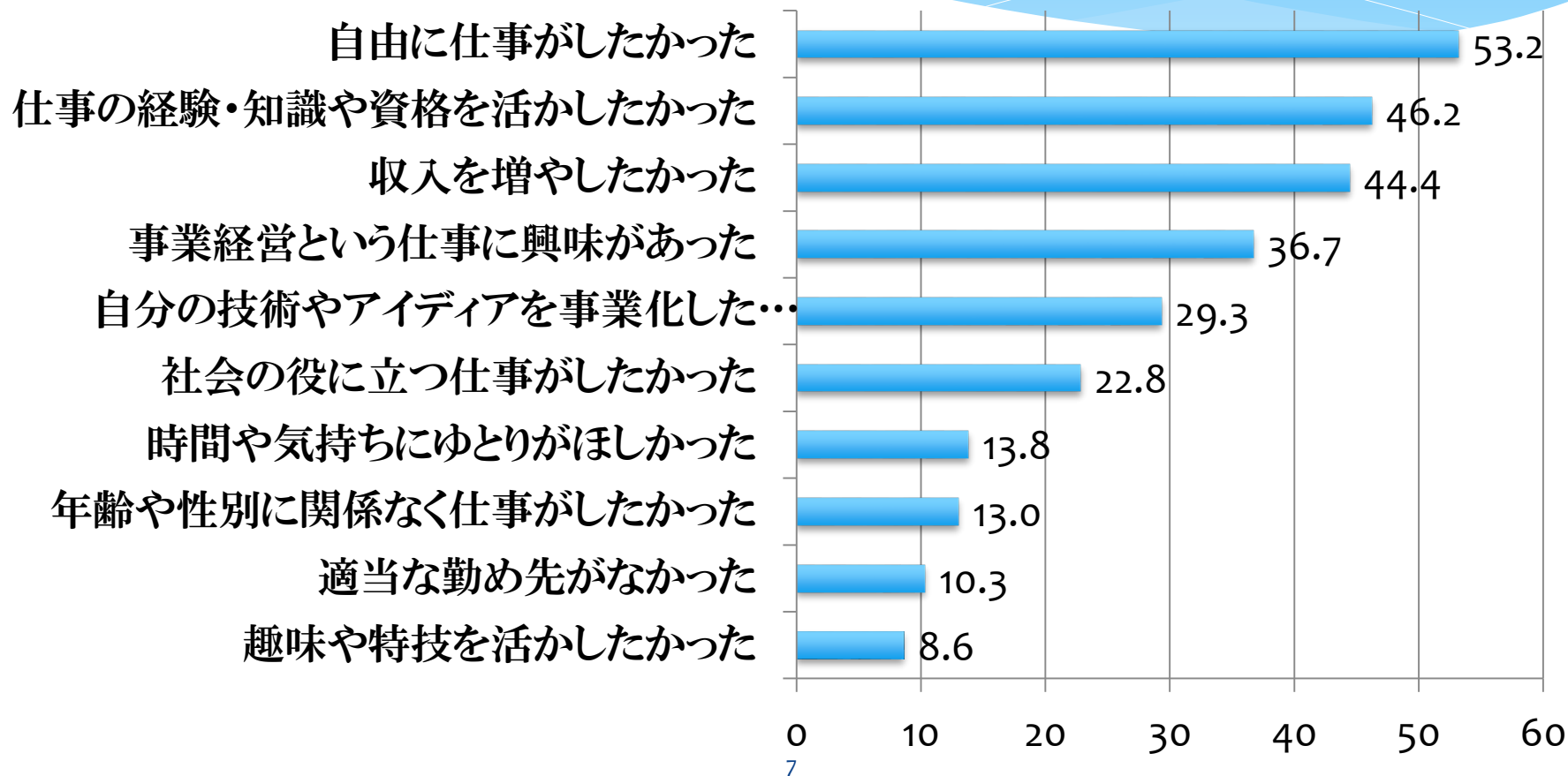
起業者はどのような人たちか 「2014年版新規開業白書」より

- * 男性比率85%
- * 起業時の平均年齢 42歳(60歳以上が6.5%)
- * 大学卒業・大学院修了 38%(雇用者よりやや高い)
- * 斯業経験86%(平均15年)、正社員等の常勤職 84%
- * 「就業構造基本調査」の結果(中小企業経営者全体)より男性比率が高く、60歳以上の比率は低い。
- * ただし、「就業構造基本調査」と異なり、調査対象を日本政策金融公庫の融資先に限定

なぜ起業したのか

「2013年版新規開業白書」より

起業動機(3つまでの複数回答%)



どのような人が起業を目指すのか

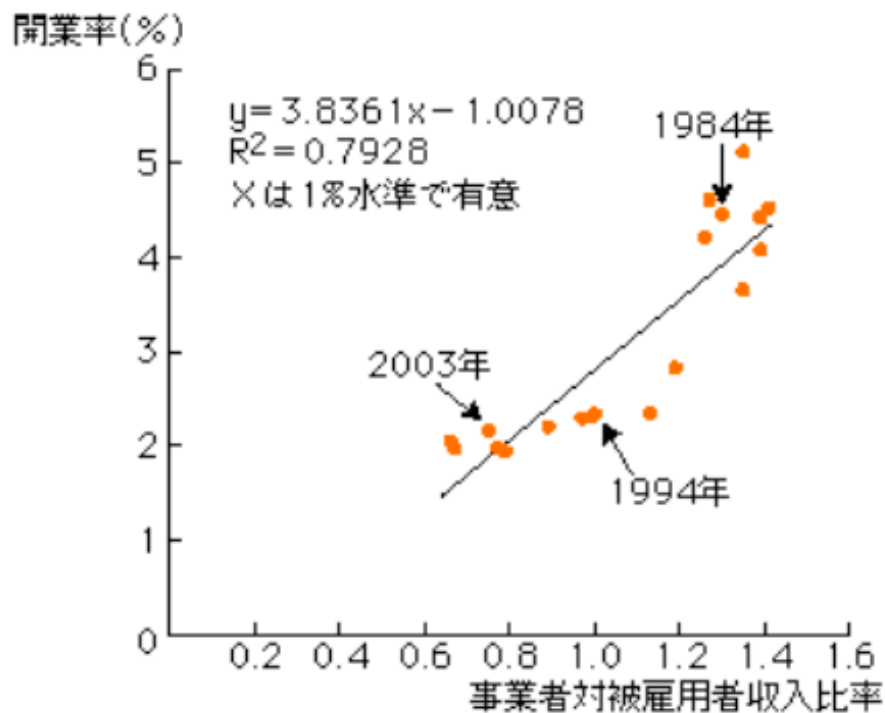
「就業構造基本調査」データ分析

- * 「平成24年就業構造基本調査」35万人個票データの分析結果(分析中につき未公開)
- * 「今の仕事を辞めたいと思っている」雇用者と「就業したいと思っている」無業者のうち「自分で事業をしたいと思っている人」(起業希望者)と「その準備をしている人」(起業準備者)の特性を回帰分析
- * 起業希望者・準備者に共通する特徴：
男性＞女性、年齢の影響、高学歴(大卒)、専門的職業、非正規雇用、小規模企業勤務
- * 男女の違い：男性は既婚のほうが、女性は未婚のほうが起業に意欲的；年齢のピークは男性が40代、女性は50代以上

起業の意思決定モデル

- * Occupational choice model (Evans and Jovanovic 1989)
- * 起業の期待効用が被雇用の期待効用を上回るときに、
起業が選択される。
- * 期待効用は所得だけでなく非金銭的な満足度も含む。
- * 所得(金銭的効用)に注目した起業決定の条件: 起業
の期待所得が被雇用の期待所得を上回ること
- * $\pi(k, \theta, x) > w(x)$
(k: 事業資産規模、 θ : 起業家能力、x: 個人属性)
- * 起業のリスクと参入・退出コストを考慮？

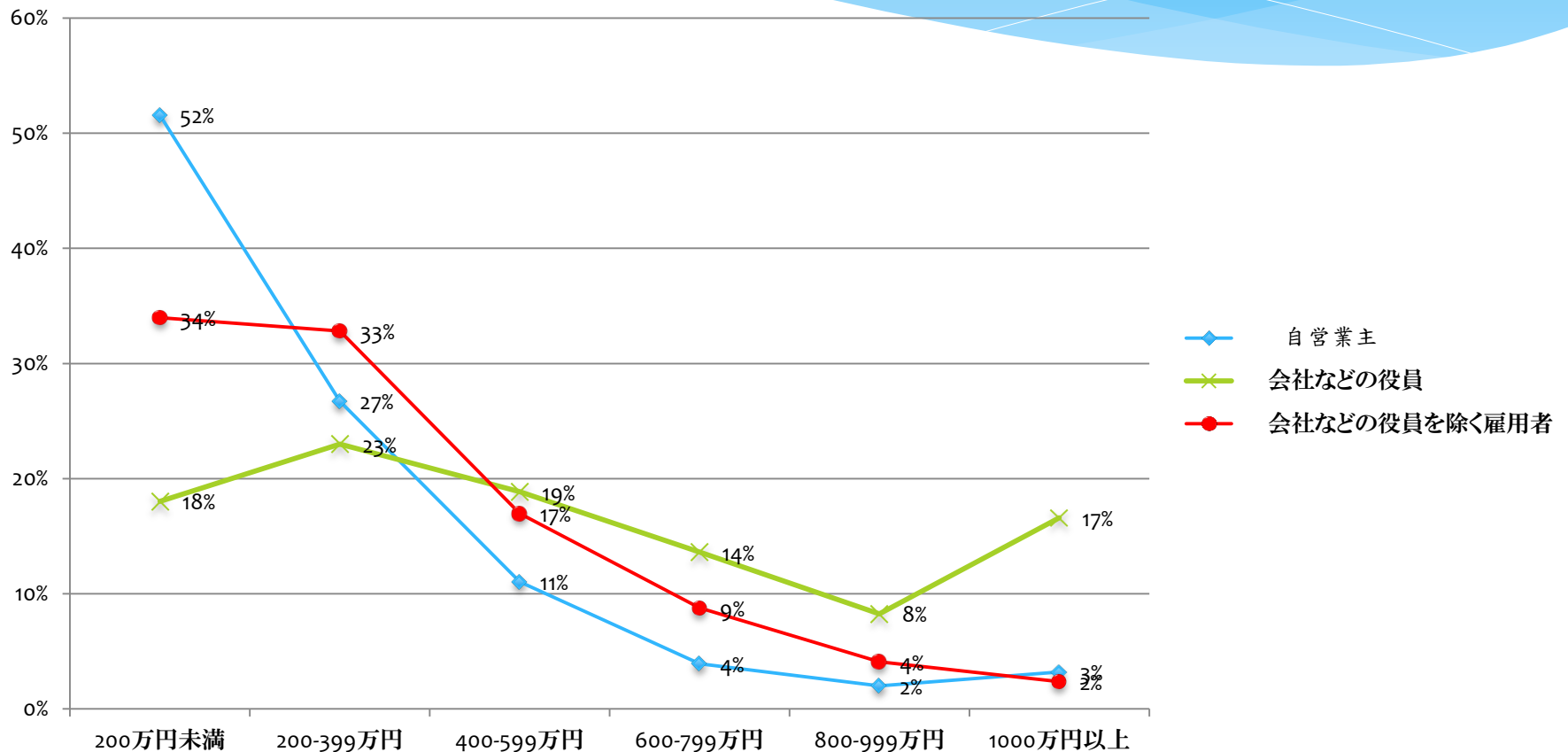
自営業者の相対所得水準と開業率 「2005年版中小企業白書」より



資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」再編加工、
厚生労働省「雇用保険事業年報」、総務省「個人企
業経済調査年報」

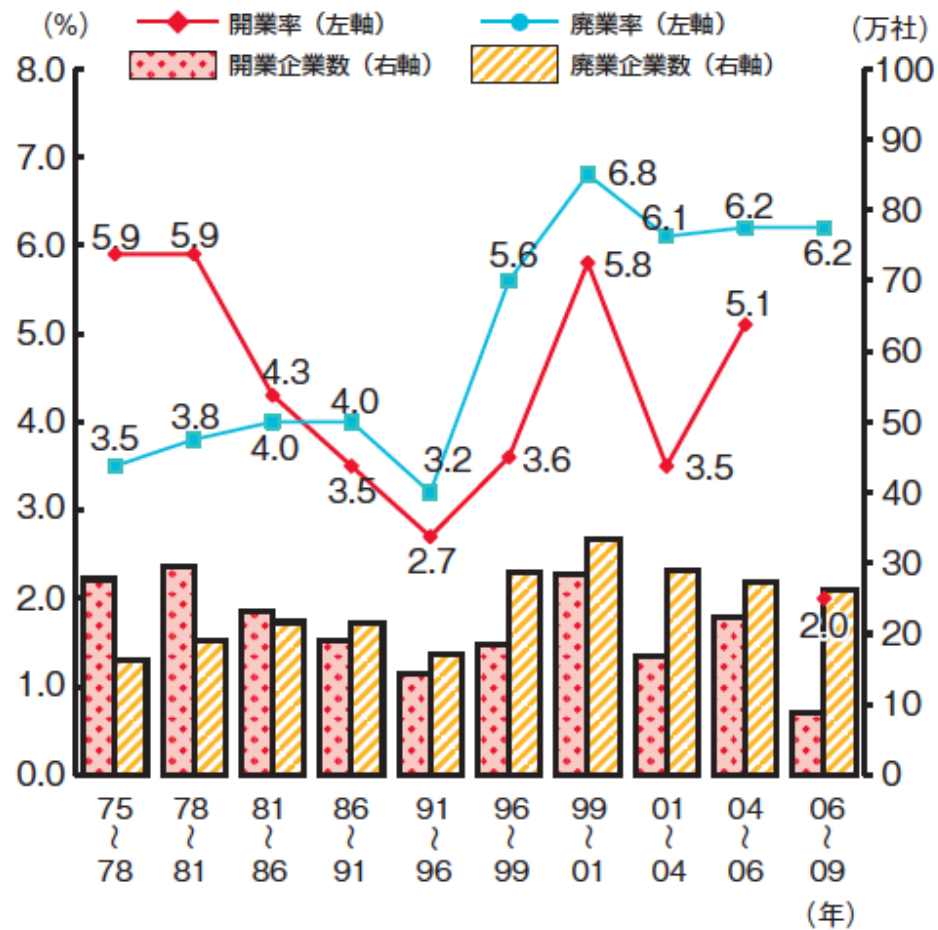
自営業者の年間所得分布

「平成24年就業構造基本調査」より



企業の開廃業率の推移

「2011年版中小企業白書」より



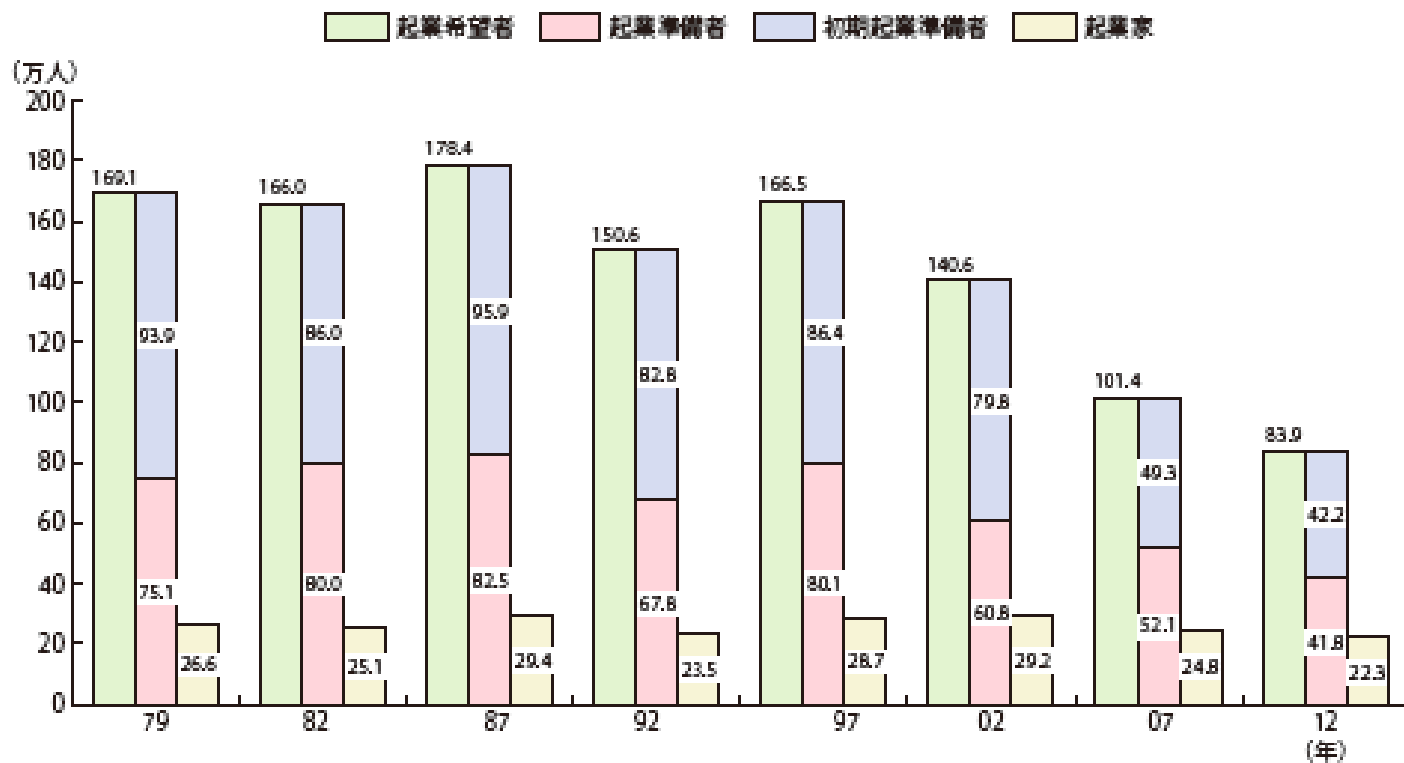
起業の希望と準備、実現

- * 起業の希望、準備と実現のギャップ(総務省「就業構造基本調査」):起業の希望者は1997年(167万人)から2012年(84万人)に半減!(次のシート)
- * しかし、起業希望者・準備者の起業実現率は高い。
- * 最近では起業者の3分の1が女性、3分の1は60歳以上のシニアである(シニア起業の比率が増加)。
- * なぜ起業希望者が少ないのか、なぜ減ったのか。
～日本人の国民性？

起業の担い手の減少 「2014年版中小企業白書」より

第3-2-1図

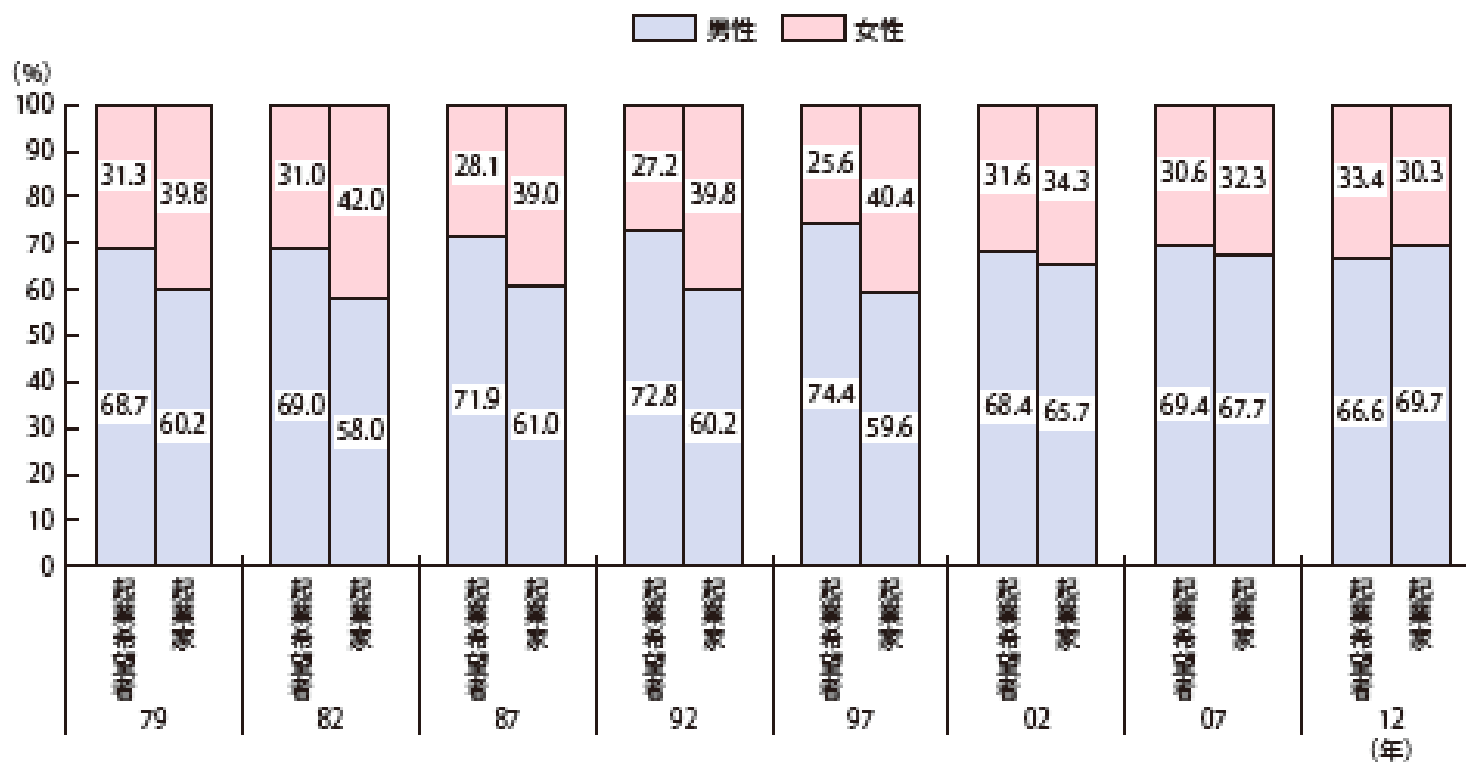
起業の担い手



資料：総務省「就業構造基本調査」再編加工

起業者の3割が女性

第 3-2-3 図 起業希望者及び起業家の性別構成の推移

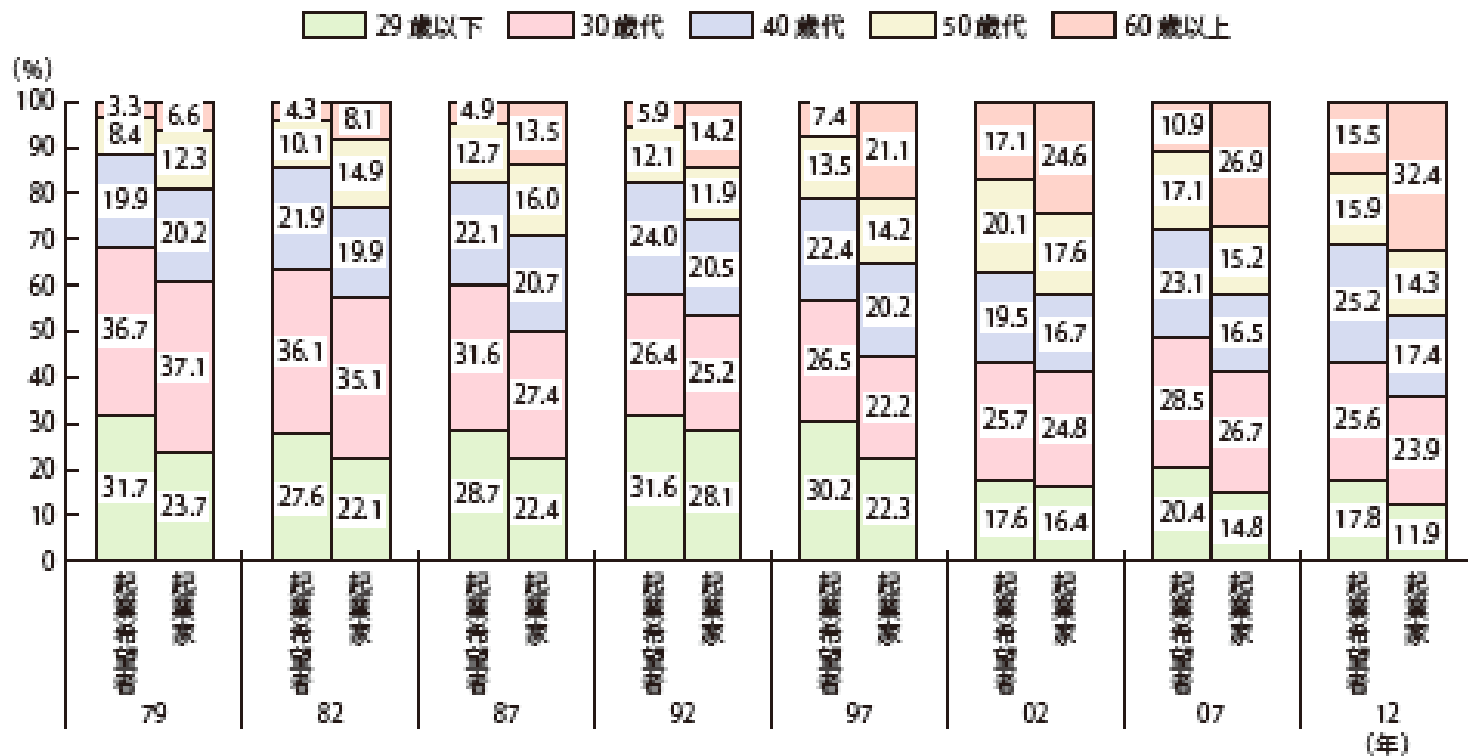


資料：総務省「就業構造基本調査」再編加工

起業者の3割が60歳以上

第3-2-4図

起業希望者及び起業家の年齢別構成の推移



資料：総務省「就業構造基本調査」再編加工

GEMデータによる起業の国際比較(1)

* GEM (Global Entrepreneurship Monitor) とは？

各国の起業活動の水準を比較するための信頼できる指標を作成する国際的プロジェクト、1999年に日本を含む10か国で開始、2013年には70か国が参加。毎年、各国で18-64歳の成人人口を対象とする調査を実施、集計

* 米国Babson College等の研究機関がスポンサーとなって調査結果を取りまとめ、国際比較結果をGlobal Reportとしてウェブサイト無料公開

* 日本における調査は高橋徳行(武蔵大学)を中心とするチームが担当し、毎年2,000人を対象に調査。

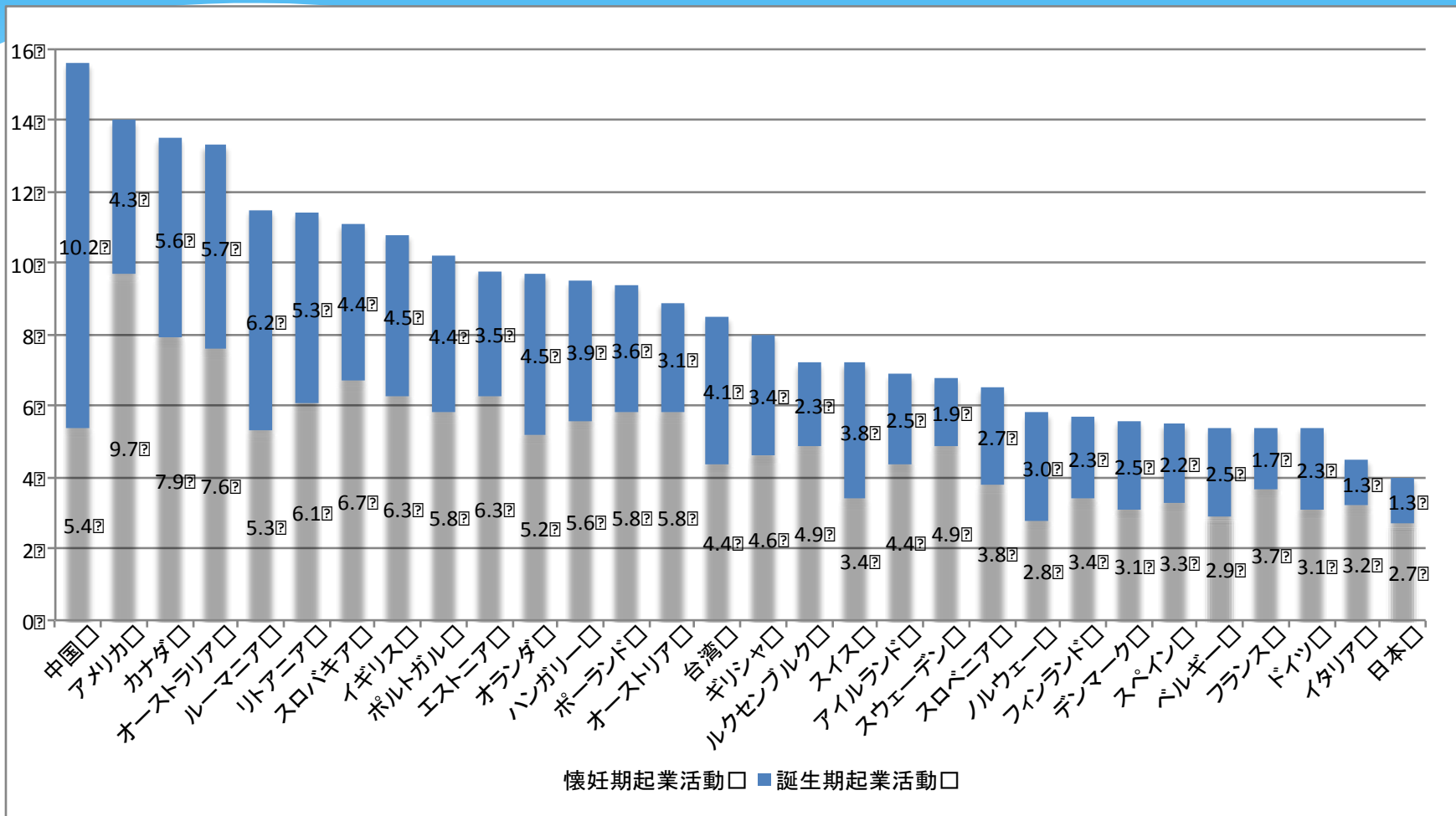
GEMデータによる起業の国際比較 (2)

起業活動の指標 (18-64歳の人口に対する割合):

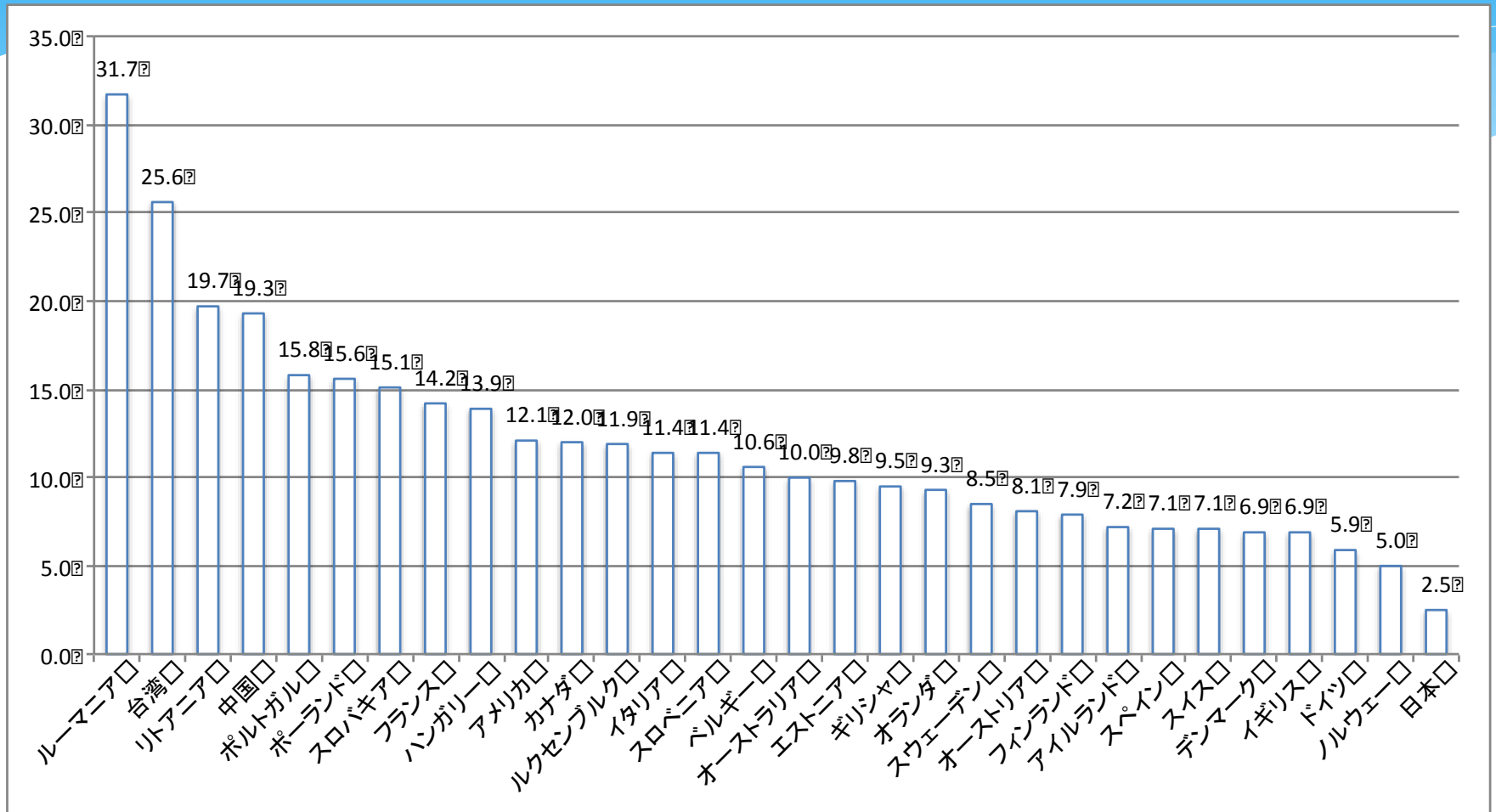
- * Nascent entrepreneurship: 起業を準備しているか、起業から3ヶ月以内の人
 - * New business ownership: 起業から3ヶ月超～42ヶ月以下の人
- ## 起業態度の指標 (18-64歳の人口に対する割合):

- * Perceived opportunities: 居住地で良好な事業機会を認識している人
- * Perceived capabilities: 起業のために必要なスキルと知識を備えていると考えている人
- * Entrepreneurial intentions: 3年以内の起業を意図している人

GEMデータによる起業活動の国際比較 (2014年調査)



起業予定者比率の国際比較(2014年)



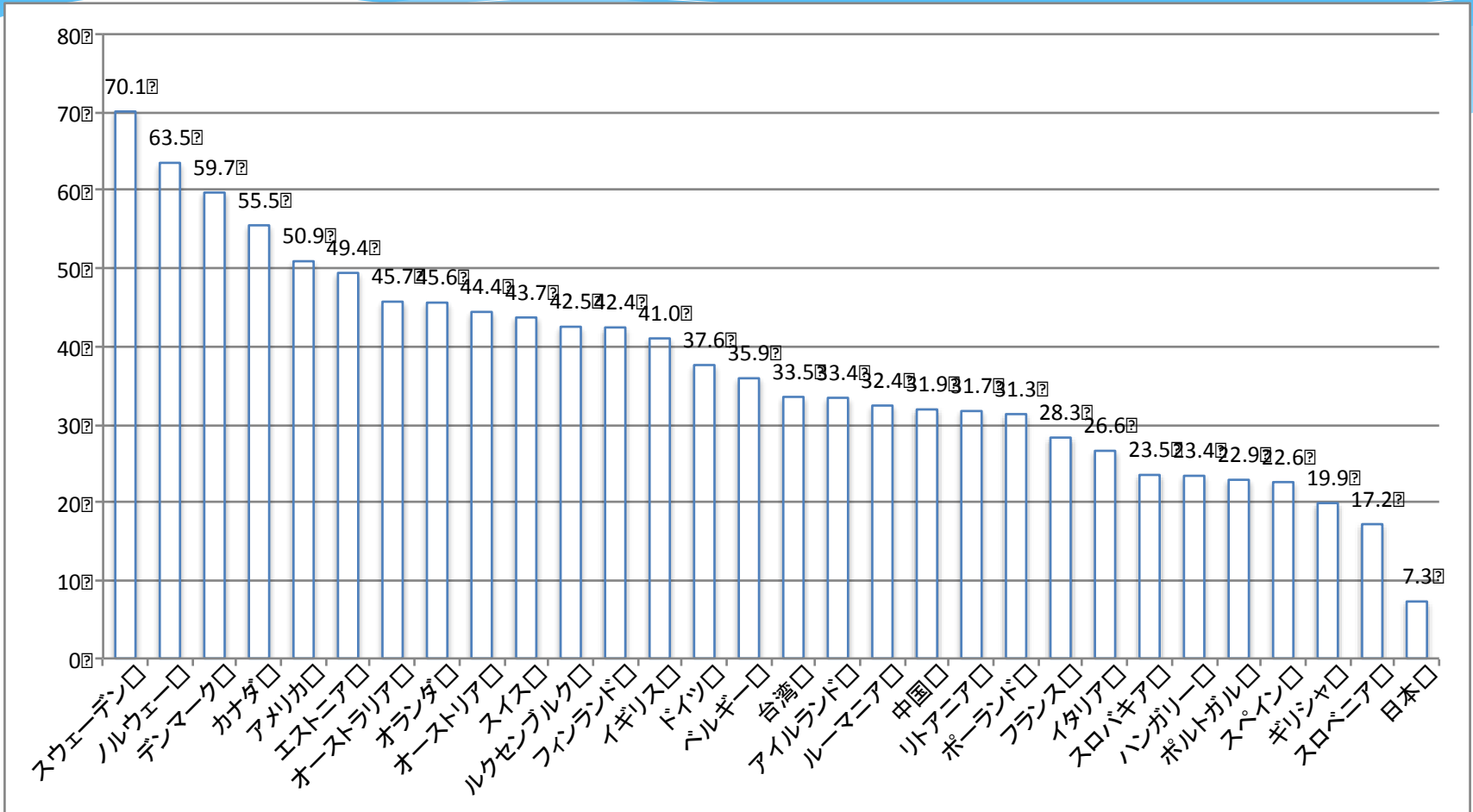
開業支援政策の可能性(1)

- * 起業活動の長期低迷→1990年代以降、開業促進政策
- * 1999年「中小企業基本法」改正：開業支援が重点課題
- * 2013年6月「日本再興戦略」閣議決定：開業率・廃業率を米国並みに10%台にする(開業率>廃業率)目標
- * 規制緩和、特に雇用の流動化によって開業を促進！
- * 開業率の現状は1.4% (経済センサス)ないし4%前後(雇用保険統計).
- * このような政策目標は適切か、達成可能か？

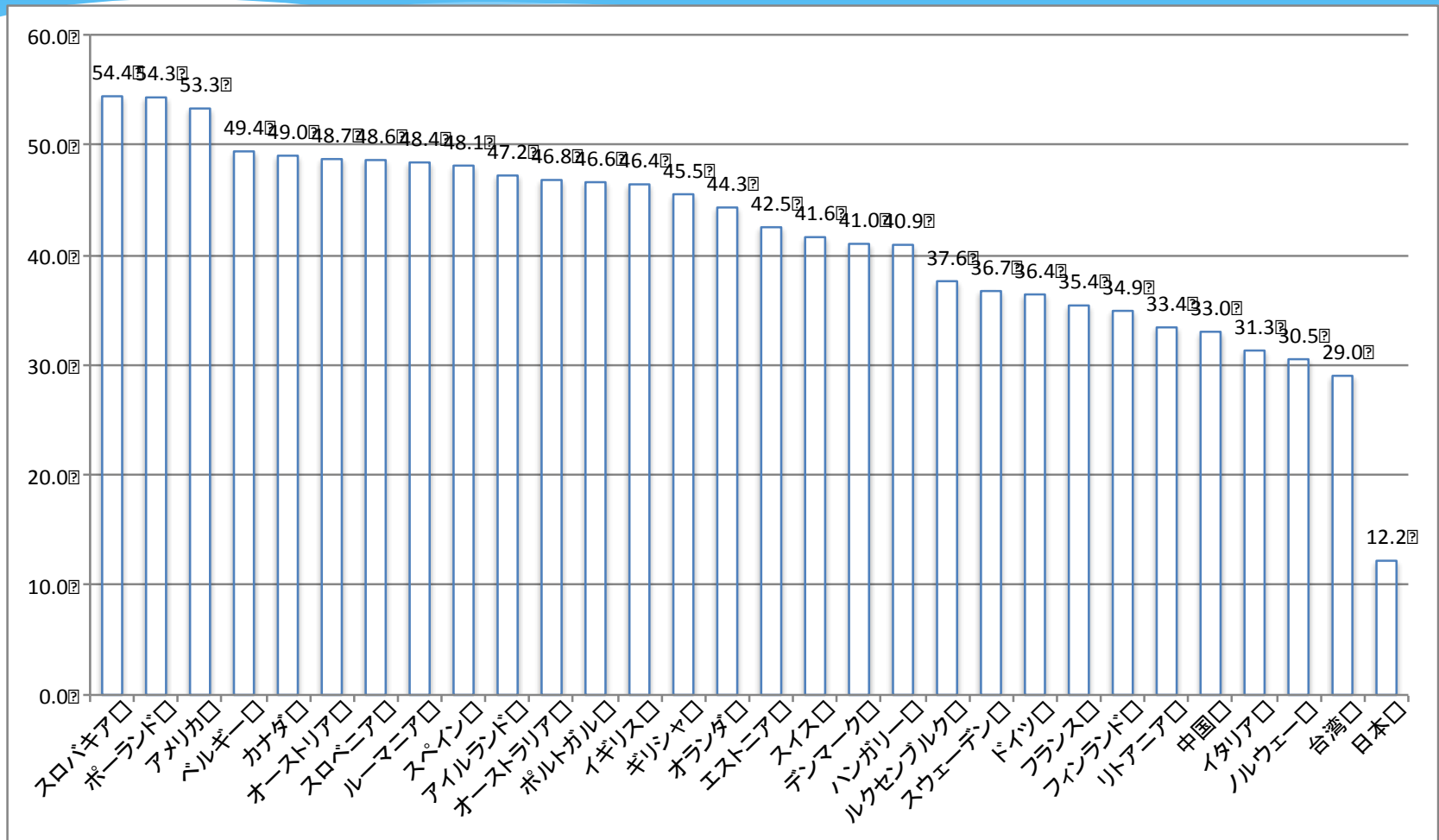
開業支援政策の可能性(2)

- * 高橋徳行他(2013):
日本の起業活動が他の国よりも低調な理由(マイクロデータによる主要先進国6か国の比較分析)
- * 25-34歳の若年層と高学歴者の起業活動が低調
- * 「事業機会の認識」も「起業に必要な能力等の自己評価」も極めて低い:「起業態度」に明瞭な違い
- * 起業態度を制御すれば、日本と他の5か国の起業活動指標に有意な差はなくなる→起業態度を変える必要?
- * 日本では「起業無縁層」(2年以内に起業した人知らない and 起業の知識・能力を持たない)が7割:何が問題か
- * 「起業無縁層」を減らすための起業家教育が必要?

起業態度の国際比較： 事業機会の認識（2014年）



起業態度の国際比較： 起業者能力の自己評価(2014年)



開業支援政策の可能性(3)

- * 鈴木(2013):他の先進諸国と比べて、日本では起業の実現率が高い(日本96%、米国59%、ドイツ68%)。
- * 日本の起業活動の低調は、起業への制度的な障壁でなく、そもそも起業を希望し準備する人が少ないため。
- * 従来型の開業支援には限界。起業態度を改善し、起業を希望し準備する人を増やす必要がある。
- * しかし、事業機会の認識や起業者能力の自己評価を政策的に高めることが可能であり適切であるか、疑問。
- * 合理的な認識・判断に基づく意思決定を歪める恐れ

DRUID 2015 in Rom, June 15-17

- * Debate on Entrepreneurship Policy
- * Motion: “Policy efforts to encourage more people to become entrepreneurs are generally wrong”.
- * Speaking for the motion (Thomas Astebro, HEC Paris):
to vote against the motion, the following 3 must hold:
 - 1) Lots of people are trapped in jobs at established businesses who would be better off self-employed;
 - 2) We as a society are worse off because of this;
 - 3) More policies like the ones we have would correct this social problem.

まとめ

- * 就業者の15%が中小企業経営者、8%が起業者
- * 起業者の特徴：男性、中高年、職業経験、高学歴？
- * 日本の起業活動の長期低迷；国際的にも最低水準
- * 起業は重要だが、その政策的支援には限界：
「起業態度」を変えるべきか、どのように変えるべきか。
起業への関心と起業者への理解を高める必要？
- * むしろ起業後の存続・成長の支援や円満な退出の支援、事業承継・経営者交代の円滑化が重要？

参考文献・資料

- * 岡室博之(2014a)「開業率の低迷と政策措置の有効性」、『日本労働研究雑誌』2014年8月号.
- * 岡室博之(2014b)「中小企業の経営者」、企業家研究フォーラム編『企業家学のすすめ』、有斐閣(第III部第8章).
- * 鈴木正明(2013)「日本の起業活動の特徴は何か グローバル・アントレプレナーシップ・モニターに基づく分析」、『日本政策金融公庫論集』第19号、17-33頁.
- * 高橋徳行・磯辺剛彦・本庄裕司・安田武彦・鈴木正明(2013)「起業活動に影響を与える要因の国際比較分析」、RIETI Discussion Paper Series 13-J-015. 経済産業研究所.
- * 中小企業庁『中小企業白書』各年版.
- * 日本政策金融公庫総合研究所編『新規開業白書』各年版、同友館.
- * 本庄裕司(2010)『アントレプレナーシップの経済学』、同友館(第4章「起業家」).
- * GEM Global Reports (www.gemconsortium.org/report).